

未来の教育を支える税

成田市立吾妻中学校 3年 田中 美妃

私達国民が納めている税金は、様々な形となって日々の生活をより豊かにしている。今回、この作文を書くにあたり資料を通して税の使われ方を詳しく知ることができた。そして私は、義務教育が税金に大きく支えられていることに深く考えさせられた。こうして文字を書き、税のしくみについて理解できているのも、学校での授業を積み重ねてきたからだと思う。

私の学校の校舎はとても綺麗で、エアコンも完備されている。夏は涼しく、冬は暖かい。おかげで体調を崩すこともなく元気に授業を受けることができている。このような校舎、エアコン、机、椅子、教科書、授業などは税によってまかなわれており、快適に勉強できる環境が整っていることで私達学生は安定した教育を受けられているのだと感じる。同時に、汗を流して働いている方々が納めた税金を使っているということも忘れてはならない。一冊の教科書だって、見方を変えれば沢山の人の努力と支えにより私の手元にあるものだ。だからこそ、学校の物だけではないが、そういった税金で支払われている物の使い方を今一度見直し、大切に使っていきたい。私が税金を払う場面といたら、消費税くらいなわけで、自分の稼いだお金でもない。だから、学生の私にとって国のためにできる一番のことは勉学に励むことだと考える。特に公民は現代の日本を知るうえで重要な教科であると思う。三年後には選挙権を得て私も有権者の一人となり、政治に参加することができるようになる。税の使い道を主に決める国の代表を国民で決められる機会があるからこそ、慎重に投票する必要がある。それまでに今はある程度の知識を築き、心身共に成長をして九年間の義務教育を終えたい。

税金というシステムがなければ、今頃日本はどうなっていたらろう。まともに教育を受けることができない子供が多発していたかもしれない。そして教育だけでなく、色々な面で深刻な状況になってしまうということも考えられる。想像を広げることで、税の大切さを改めて感じることもできた。しかし、少子高齢化社会が大きな課題とされている日本では、これまで以上に働き手の数が減り、若者の負担が大きくなってしまうとテレビを通して知った。大変な事態になることは間違いないが、私達が沢山の大人に支えられているように、次は私達が未来の子供を支えていく番だ。まだ私は大人への階段を登っている最中だけれど、いつか立派な大人に、立派な納税者になりたい。